

ほほえみ

創刊号

平成15年12月1日発行

発行：碧南市民病院

病院長 山田 昂

編集：広報委員会

広報紙「ほほえみ」創刊にあたって

病院長 山田 昂

碧南市民病院は昭和63年5月に開院しましたので、今年で16年目になります。人でいえば小児科から内科に成長したともいえますが、市民病院は最初から高度医療、救急医療を行う病院として皆様の希望と期待に添えるように努力してまいりました。さいわい皆様のご支援ご指導によって、この地の中核病院として認知されてまいりました。しかしこれまで皆様に市民病院を知っていただくための広報紙の発行が遅れてしまいました。まことに申し訳なく思っています。

これからは患者様が病院を選ぶ時代です。そのためには病院の様々な情報を得て判断する必要があります。まず創刊に際して最初に病院の理念と基本方針を示させていただきます。そして順次病院の情報を載せてまいります。またインターネットのホームページにもご紹介いたしますのでご利用ください。皆様のご意見もお寄せいただいで心のこもった広報紙になることを願っています。



碧南市民病院 理念

碧南市民病院は「温かな、心のこもった医療」の提供を病院の基本理念として掲げます。

病院は地域における中核病院として必要な医療機器を設置するとともに、職員一同日々進歩する医療に対して自己研鑽を行い、市民生活にとって大切な救急医療を重視し、チーム医療による高度医療を行うとともに、リハビリテーション医療にも力を注ぎ、患者中心のより質の高い医療の提供に努めます。併せて、地域医療機関との病診連携を密にし、地域住民から「愛され、選ばれうる病院」を目指します。

碧南市民病院 基本方針

基本理念『温かな、心のこもった医療の提供』のもとに、地域に信頼され選ばれる病院、職員が誇りを持って働ける病院を目指して基本方針を定めます。

1. 医の倫理にもとづいて、すべての人に平等に人格、権利を尊重して、心のこもった医療を行います。
2. 質の高い医療を提供します。
3. 安心の医療、心穏やかな医療を提供します。
4. 救急医療、地域医療機関連携の推進をします。
5. 健全な運営、管理を行います。



広報紙「ほほえみ」は、碧南市民病院ホームページ

(<http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/index.htm>) からご覧いただけます。

寒くなってきましたね。インフルエンザについて知っておきましょう！

Q：インフルエンザと普通のかぜはどう違うのですか？

A：普通のかぜは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはほとんどありません。

一方、インフルエンザの場合は39度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあります。

Q：インフルエンザにかかったらどうすればよいのですか？

A：単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠を十分にとることが大切です。空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなりますので、部屋の湿度を保ちましょう。水分を十分に補給しましょう。お茶、ジュース、スープなど飲みたいもので結構です。なお、早めに治療することは、自分のからだを守るだけでなく、他の人にインフルエンザをうつさないという意味でも大変重要なことです。

いわゆる「かぜ薬」と言われるものは、発熱や鼻汁、鼻づまりなどの症状をやわらげることはできますが、インフルエンザウイルスや細菌に直接効くものではありません。

Q：インフルエンザにかからないためにはどうすればよいのですか？

A：予防の基本は、流行前に予防接種を受けることで、これは欧米では一般的な方法になりつつあります。また、罹患した場合に重症化する可能性の高い人には、重症化防止の方法としても有効です。特に高齢者は流行前に予防接種を受けましょう。これはインフルエンザ予防の基本です。また、同居人、世話をしている人も予防接種を行って、ウイルスを持ち込まないようにすることをお勧めします。インフルエンザは、かかった患者の咳などで空気中に拡散されたウイルスを鼻腔や気管などに吸入することによって感染します。

インフルエンザが流行してきたら人混みや繁華街への外出を控えましょう。特に高齢者や慢性疾患を持っている人や、疲れていたり、睡眠不足の人は、罹患したとき重症化する可能性が高くなります。外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度を保ちましょう。常日ごろからバランスよく栄養をとることも大切です。

帰宅時のうがい、手洗いは、かぜの予防とも併せてお勧めします。



Q：インフルエンザの予防接種は効果がありますか？

A：予防接種を受けないでインフルエンザにかかった人の70%から80%の人は、インフルエンザの予防接種を受けていれば、インフルエンザにかからずすむか、かかっても症状が軽くてすむという有効性が証明されています。特に高齢者の場合は、インフルエンザによる入院・死亡を減らすことが証明されています。WHOが推奨した株を基本にして我が国の流行状況などから予測して作られた我が国のインフルエンザワクチンは、この約10年間、予測と流行したウイルス株はほぼ一致しており、有効なワクチンが作られています。

もっと詳しく知りたい方は、感染症情報センターホームページ
(<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-faq.html>) をご覧ください。

5階病棟の紹介

5階病棟は、消化器内科・耳鼻科・泌尿器科・眼科・皮膚科の患者様が中心に入院されている混合病棟です。

スタッフ：看護師43名、ヘルパー4名、クラーク2名

病床数：92床

入院中は毎日受け持ち看護師が自己紹介にうかがい、患者様の状態に応じた日常生活の援助について計画を立て、チーム全体で患者様中心の継続した看護を提供できるように努力しています。

混合病棟のため、いろいろな科の患者様が入院してこられます。一日に入院してこられる患者様もたくさん見えます。毎日忙しく動き回っているのが現状です。しかし、患者様一人ひとりを尊重し思いやる心は忘れないで、明るく元気で、そして笑顔を大切にはつらつと働いています。

< 5階病棟のスタッフ >



スタッフから一言

- * 看護師はみんな明るい
です。
- * 笑顔を大切にしていま
す。
- * 親切丁寧な看護を目指
しています。
- * 患者様のために一生懸
命がんばっています。

私たち看護師は、患者様が安全に安心して入院生活をおくっていただけるよう、また、この病棟に入院してよかったと思っていただける看護を心がけています。

ご意見箱

～ 掲示板「みんなの目」より～

【ご要望】 ベビールームのドアは、ベビーカーでも出入りできるように、開けたときに止まるようにしてほしい。

ご返事

ドアにストッパーを取り付け、ドアを開けたときに止まるように改良いたしました。貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

【励まし】 * 歯科口腔外科の職員の対応がとても親切。
* 産婦人科病棟の看護師の術後の励ましの言葉がとてもうれしく対応が良かった。

ご返事

接遇につきましては研修会等を行い全職員で努力しておりますが、まだまだ十分とは言えません。今回、対応を評価していただきましたことを励みに、さらにサービスの質向上に努力してまいります。



【ご要望】 会計は早くなり、待ち時間は短くなったが、薬が遅いから意味が無い。もう少し早くできないのですか？

ご返事

医師が入力したお薬の処方せんは、コンピュータで薬剤部に伝達され、調剤、分包、検薬、袋詰めしてお出ししており、お薬を間違いなくお渡しするためには通常15分から20分が必要です。なお、患者様の集中する時間帯（10時から11時ごろ）や複数の科に受診された方は30分以上のときもありますが、待ち時間を短くするよう努めていますのでご理解ください。

もう一つの薬の受け取り方法として、「院外処方」をお勧めいたします。診察の際に、受付窓口又は医師に「院外処方せん希望」と申し出ていただければ、病院で薬の受け取りを待たずに、お近く（ご指定）の薬局で薬を受け取ることができます。

お知らせ

～ 12月1日より建物内禁煙～

平成15年5月1日から健康増進法が施行され、第25条で「多数の人が利用する施設の管理者は、施設利用者について受動喫煙を防止するため、必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」こととされました。

碧南市では、小学校や中学校などの教育施設では敷地内禁煙、公共施設では建物内禁煙などの対策が講じられることになりました。

当院では、12月1日より建物内禁煙となりますので、よろしくお願いいたします。

なお、喫煙場所は図のとおりです。

(喫煙場所：)

